

皆様に、最新の**労働災害情報**をおとどけしています！

災害発生情報 No.66

2014. 4. 22
(社) 筑西労働基準協会

筑西労働基準監督署管内で発生した労働災害の最新情報をお届けしています。各社の安全衛生管理活動にご活用ください。

【転倒災害】

業種	社会福祉施設	経験	2年	年齢	60歳	男女	女性
発生日	発生時刻		17時50分				
発生状況	夕方になり急に雨が降り出したため、換気のために開放していた天窓から雨が吹き込み、そこを通行した労働者が滑って転倒した。						
負傷の程度／部位	左手首骨折			休業見込	2ヶ月		

◆ コメント

「見える」安全活動をご存知でしょうか。

職場には視覚では捉えられない危険が潜んでいます。その**危険を可視化（見える化）**することを「見える」安全活動といいます。

例えば、出入口扉の下部にドア軌跡を表示する、通路のコーナーに確認ミラーを設置する、躓くおそれのある箇所に黄色のテープを貼り付ける。

どうでしょう。これなら簡単にできると思いませんか。このちょっとした配慮が経験の浅い新入社員などには効果的です。「危険ステッカー」を併せて貼り付けるのも良いでしょう。「見える」安全活動は、厚生労働省のホームページにも資料が掲載されていますので参考にしてください。

余談ですが、買い物客が店舗内で転倒し、損害賠償を請求したケースもあります。いつ加害者になるか分からないので、注意したいところです。



「見える化」のステッカー例

◆ 再発防止のアドバイス

- 1 雨は外から入ってきますので、屋外からの出入口を中心に図のようなステッカーを掲示し、注意喚起します。併せて「転倒注意！」などの表示やコメントを加えると更に意識づけすることができます。
- 2 過去に災害が発生した場所、ヒヤリ・ハット事例が多い箇所などを記した「危険マップ」を作成し、労働者が集まる食堂や休憩室に掲示して注意喚起します。

【お願い】

この記事は、筑西労働基準監督署のご協力により作成し、随時お届けしています。お届けしている災害情報はすべて実際に発生した事件ですが、わかりやすいように一部加工する場合があります。